

小学校道徳科における「国際理解, 国際親善」に関する 教科書教材の比較による一考察

時岡 海大 ・ 植田 和也
(教職大学院生) (高度教職実践専攻)

760-8522 高松市幸町1-1 香川大学大学院教育学研究科

A Comparative Study on Elementary School Doutoku Materials about “International Understanding and Goodwill”

Tokioka Kaito and Ueta Kazuya

Graduate School of Education, Kagawa University, 1-1 Saiwai-cho, Takamatsu 760-8522

要 旨 小学校道徳科の教科書において「国際理解, 国際親善」に関する掲載教材(8社, 全65教材)の内容や特色を明らかにするとともに共通点や相違点を検討することを目的として基礎的な分析を行った。掲載内容の学年による違いや掲載方法等に関して, 様々な工夫や配慮が見られた。内容の整理として, 国際理解は伝統, 歴史, 文化・習慣の3視点に, 国際親善は「人を通じて」「物を通じて」「スポーツを通じて」の3視点に整理された。

キーワード 小学校道徳科 国際理解・国際親善 教科書教材

1 はじめに

(1) 問題の所在

グローバル化が進展する今日, 在日外国人や来日外国人数の増加と同時に, 日本国内において外国の文化や外国人と触れ合う機会は, ますます増加すると考えられる。中央教育審議会答申(2016)では, 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力として「グローバル化の中で多様性を尊重するとともに, 現在まで受け継がれてきた我が国固有の領土や歴史について理解し, 伝統や文化を尊重しつつ, 多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力」が挙げられている。しかし, 日常生活において, 日本人の国際理解や国際親善に係る国際感覚が急激に変容するとは考えにくい。そのうえでも, 学校教育における国際理解や国際親善に関する教育活動や多様な体験の積み重ねが肝要であることは言うまでもない。義務教育段階における, それらに関する学びの場は, 社会科, 英語科, 道徳科, 総合的な学習の時間だけでなく, 様々な教科の

中で設けられ創意工夫されながら実施されている。年度初めに作成される教育活動計画の中には, 国際理解教育として明示されている学校も多く見られる。

本稿では, 特に小学校の道徳教育の要となる道徳科に焦点をあてて, どのような内容が道徳科の時間における学びの具体的な学習材として掲載されているのかを明らかにしたく, 小学校道徳科の教科書教材に関する分析を行うこととする。

(2) 小学校学習指導要領上の内容項目の位置づけ

「特別の教科 道徳」(以下, 道徳科と略記)における内容項目「国際理解, 国際親善」は, 平成29年告示の小学校学習指導要領改訂において, 小学校低学年から学ぶ内容項目として明示された。それまでの学習指導要領では, 平成元年度版では小学校低・中学年において単独での記載はなく, 高学年において, 「外国の人々や文化を大切にすることをもち, 日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。」と示されている。平成10年度版, 20年度版とも同様である。

平成10年度版の小学校中学年において、「我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。」と、伝統・文化、愛国心に関する内容とともに国際理解に関する内容が、関心をもつと表現されることとなった。

そして、平成27年3月に教科化されることとなり、その後平成29年告示の小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（以下、解説道徳科編と略記）では、内容項目「国際理解、国際親善」に関する説明として、「他国の人々や多様な文化を理解するとともに、日本人としての自覚や国際理解と親善の心をもつことに関する内容項目である。」と記載された。さらに、学年段階ごとに、第1学年及び第2学年では「他国の人々や文化に親しむこと。」、第3学年及び第4学年では「他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。」、第5学年及び第6学年では「他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。」と各々の発達段階も考慮して明示された。

このように、他国の人々や文化に対する理解とこれらを尊重する態度を養うことは、小学校低学年から道徳科においても学びの充実が求められている。

2 研究の目的

本研究では、道徳科の小学校教科書の掲載内容について、内容項目「国際理解、国際親善」の教材がどのように掲載されているのかに関する基礎的な分析を行う。そのことを通して国際理解・国際親善の教材の内容や特色を明らかにするとともに各社の共通点や相違点を検討することを目的とする。なお、本研究の基礎的分析は各教科書の優劣をつけたり問題点を指摘したりするものではない。実際の掲載内容の事実から見えること、意図されていることを整理することで、各教科書会社の教材を活用したよりよい授業実践につながることや国際理解・国際親善の充実につながることを願っているものである。

3 先行研究

国際理解・国際親善に関する様々な研究報告がみられるが、ここでは特に道徳教育の国際理解・国際親善、教材の比較研究に関する内容を概観する。

安野（2010）は、「自分の国を愛し、平和のうちに共存する権利を守ろうとする国民一人一人の思いが、わが国だけでなく同じ思いを持つ他国の人々も尊重しなければならないという、国際的視点にもつながると愛国心と国際理解の関係性について述べている。

中島、宮里（2019）は、内容項目C「国際理解、国際親善」と内容項目C「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」は密接な関わりがあると指摘している。この点に関して、解説道徳科編では第3章道徳科の内容、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の概要部分では、「国際理解、国際親善」に関する指導と相まって、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚と責任をもって、国際親善に努めようとする態度につながっている」と表記されている。また、「国際理解、国際親善」の概要部分では、「我が国の伝統と文化に対する畏敬の念と併せて理解できるように」と同様の記述が確認できる。このような相互の関連は内容を分析する際に重要な点であると考えられる。

教科書教材の比較による研究としては、池田・植田（2015）では、「思いやり・親切」を扱う道徳読み物資料に関して、学年、ねらい、主人公、対象、人物関係図、類型、内容（あらすじ、主題）で比較分類し、各学年の発達段階に相応しい特徴を関係図で示している。また、浅部（2020）は、「感謝」を扱う小学校の道徳科教科書教材を分析し、全教材の特徴を主人公、登場人物、読み手の関係性から分類している。さらに、浅部（2022）では、「礼儀」に関する教科書教材を学年、教材名、観点、4領域（迷惑、恥、通じる、交遊）、内容、場面から整理してまとめている。

いじめ問題に関する道徳教材の比較検討として、大野・植田・金綱・齋藤（2020）では、小学校の教材の分析を学年、タイトル、副題、内容項目、主人公、被害者、加害者、観衆、傍観者、変容の手助けとなるセリフ（行動）、変容する（しそうな）人・動物、実話か創作、実話をもとにした創作、の12観点で整理して教材の特徴を一覧表にまとめている。さらに、大野（2022）は、いじめ問題の小学校と中学校の教科書教材の比較を行い、ともに四層構造が描かれているいじめ問題教材の少なさを指摘している。

4 研究の方法

（1）調査対象

小学校道徳科の教科書を出版している8社すべての教科書（以下、A、B、C、D、E、F、G、H社と記す。2020年度版：2020～2023年使用）に掲載されている内容項目「国際理解、国際親善」の教材を調査対象とする。

（2）分析方法

まず、各社の教科書の目次や最終頁に示された内容

一覧を手掛かりに、国際理解・国際親善の教材を抽出した。次に、先行研究での整理する観点を参考にしたが、現在使用の教科書にはSDGsに関する記載もあるので加えて、次の6項目の観点から分類することとした。①学年、②主題名、③教材名、④主人公や国名又は地域、⑤学びの手引き（とびら）、⑥SDGsの観点。そして、会社ごとに一覧表として整理した（資料1～8参照）。次に、整理した表をもとに、各教材で記載されている内容や構成上の特色について検討した。その際に、掲載国名、国際理解・国際親善の具体的な視点、複数社で扱われている共通の教材、学びの手引きの特徴について比較しながら、各社の共通点や相違点を検討し、考察を加えることとした。

5 結果と考察

(1) 6観点での整理

学年毎に教材の数を一覧表にしたのが表1の通りであり、全教科書会社で小学校第1学年では7社において1教材であるが、1社は2教材掲載も見られた。

また第6学年では、2教材掲載が6社にみられて、学年の合計でも14教材と最も多い掲載数である。全学年の合計65教材が国際理解・国際親善の道徳科教材として掲載されていた。

① 学年毎の教材に見られる特徴

第1、2学年の教材は文字が少なく、漫画形式での記載、写真や絵を多く使用という特徴が見られた。これは全教科書会社に共通であり、子どもの発達段階を考慮に入れた教科書構成になっていると考える。この点に関しては、生活科や国語科の教科書でも絵や写真が多く、幼稚園と小学校との学習におけるギャップを感じにくくさせるなど、発達段階に応じた配慮であり、小1プロブレムの解消に向けた工夫の一つといえるのではないかと考える。

表1 学年ごとの教科書に掲載されている教材数の一覧

出版社 学年	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
1	1	1	1	1	1	1	1	2	9
2	1	2	1	1	1	1	1	2	10
3	2	1	1	1	1	1	1	1	9
4	2	1	1	1	1	1	1	2	10
5	2	1	2	1	2	1	2	2	13
6	2	1	2	2	2	1	2	2	14
合計	10	7	8	7	8	6	8	11	65

中・高学年と学年進行につれて、文字数の増加と共に掲載内容が複雑な教材も見られた。また社会的事実に基づく掲載内容や人物相互の関係性を理解することが基盤となっている教材など、発達段階に応じて、状況や歴史的背景の理解を要する教材がみられた。

② 主題名に見られる特徴

主題名で繰り返して使われている言葉として、「世界」「国」「日本」などが挙げられる。「国」という言葉は、「ほかの国」「他国」「いろいろな国」等、表記の仕方が様々である。これらの言葉は解説道徳科編の中にも見られる用語である。また、「世界」や「国」などの言葉を用いずに主題名を設定している教材も見られた。さらに、主題名の中に直接「国際理解、国際親善」と内容項目の言葉を用いている主題名も見られた。

③ 教材名に見られる特徴

教材名に見られる特徴としては、国名（過去の王朝名も含む）や人名（新渡戸稲造、西岡京治）が教材名に登場する教材が共に14教材であった。低学年では、7教材で「せかい」という言葉が見られ、例えば、あいさつ、くに、ともだち等であった。中学年では、さくら、ランドセル、人形、大切な物など、物を通じて食や習慣について学ぶという特徴が見られた。高学年では、歴史上の人物やその国で業績を残した人物を扱っている教材が見られた。

④ 主人公や国名又は地域に見られる特徴

まず、主人公については、特に大きな特徴は見られなかったが、ダニエルやラミー等、日本人以外の主人公を設定することで日本人とは異なる響きのある名前に触れることができる工夫がされていた。そして、道徳科の教科書教材に登場する国名を一覧表にまとめたのが表2である。最多頻度の国はアメリカ合衆国（アメリカ）で、次いで中華人民共和国（中国）、ドイツ、ブラジルであった。アメリカが多い理由としては、新渡戸稲造や太平洋戦争に関する教材が複数社で見られたことからである。次に多い中国は、日本と比較的近く、中国から日本に伝わったものも多くあり、それを題材にした教材が見られたことが理由に挙げられる。

表2からも、「国際理解、国際親善」の教材において登場する国は幅広く掲載されていることが明らかとなった。表2には複数回掲載の国名だけを示しているが、これらの他にも、アフリカ大陸のトーゴ、ブルキナファソなど社会科の教科書にも取り上げられていない国や地域の掲載には驚愕した。普段の生活の中で見聞きする国だけでなく、子どもたちが世界の国について幅広く知る

ことができるような教科書になっていると考えられる。

⑤ 学びの手引きに見られる特徴

各教科書会社が教材本文に続く箇所の学びの手引き(とびら)には、出版社や学年の違いに関係なく、教材理解のための問いと、道徳的価値について自分事として考えるための問いが掲載されていた。また、「考えよう」、「深めよう」、「見つめよう」などの観点を示して、問いが記載されている会社も複数見られた。

例えば、「考えよう」では主に教科書の流れに沿って登場人物の心情の変化や生き方について考える発問がされており、子どもたちが教材を深く理解するために必要な問いが示されている場合が殆どである。具体的には、「考えよう」の問いとして、「ペルーの人々に親しまれたアキラの生き方をどう思うだろう。」(A社第5学年「ペルーは泣いている」)、「どうして西岡さんはブータンの農場指導を熱心に行ったのでしょうか。」(C社第5学年「ブータンに日本の農業を」)である。

また、「深めよう」、「見つめよう」では教科書で学んだことから学習を深めるために道徳的価値について考えたり、自分事として考えたりするための発問が多くの場合に用意されていた。具体的には、「深めよう」、「見つめよう」の問いとして、「世界中の人々どのような思いで繋がっていくことが大切でしょう。」(E社第6学年「エルトゥール号のきせき」)、「ほかの国のために、自分にもできる活動を探してみましよう。」(B社第3学年「海をわたるランドセル」)である。

このような学びの手引きを手がかりとして、解説道徳科編における道徳科の目標にも明記されている授業像をめざして、主体的な学びを展開してほしいとの願いと解釈できるであろう。つまり、道徳的価値についての理解を基盤として、教材の中の人物と自己を照らし合わせながら考え、自分事として考えを深めるための段階的な発問が示されているとも考えられるだろう。

⑥ SDGsの視点で見る教材の特徴

次にSDGsの視点で教材の特徴について一覧表にまとめたのが表3である。

最多頻度の項目は「10. 人や国の不平等をなくそう」の21教材で、次いで「8. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「9. 働きがいも経済成長も」であった。

これら3つの指標が多い理由として、世界の喫緊の課題でもあり、ある一国だけの問題ではなく人類が共通に取り組まなければ解決できない状況になっている背景があげられる。そのような点からも、例えば人や国の不平等を無くすために日本人が現地に赴き、その国の経済や産業の発展のために尽力した事例が取り上げられていた。また、そのような過程や結果として、該当国の伝統工芸品が世界で有名になり、インフラが整備され生活が豊かになる実話もあり、日本人の国際的な貢献事例の掲載に繋がっていると考えられる。

(2) 具体的な内容の整理

内容項目「国際理解、国際親善」に関する具体的な内容の特徴について図1のように整理した。その際、教科書掲載の教材が国際理解と国際親善のどちらに重点が置かれた内容となっているかをまず検討した。次に、教材に描かれている具体的な事例を分析し、それらに共通している内容を視点として名前を付けた。国際理解は主に伝統、歴史、文化・習慣の3つの視点に整理された。

1の「伝統」の視点で描かれている事例は、日本の伝統と外国の伝統に分けることができた。日本の伝統的な農業や盆栽の良さ、技術の凄さを外国に紹介する事例と、外国の伝統的な農業の仕方やカンボジアの伝統織物であるクメール絁を日本に紹介する事例等が取り上げられている。この視点の教材は中学年から高学年にかけて多く見られた。

2の「歴史」の視点では、太平洋戦争やエルトゥール号遭難事件、東日本大震災や熊本地震などの自然災害から互いの関係を深めたり、助けあったりして日

表2 道徳科教科書教材内に掲載されている国名一覧

学年 \ 国名	アメリカ	中国	ドイツ	ブラジル	フランス	インド	イタリア	ペルー	フィリピン	ブータン	オーストラリア	フィンランド	メキシコ
1	2	2	1	2		1	1		1		1	1	
2				1	1		1				1	1	1
3	4								1		1		
4	2	1	1	1	1	1	1		1				1
5	5	2	2	1	2	2		3		3			
6	3		1										
計	16	5	5	5	4	4	3	3	3	3	3	2	2

表3 「国際理解, 国際親善」におけるSDGsの指標と教材数

SDGsの指標	10	8	9	1	16	2	3	12	6	15	17	13	4	
教材数	21	15	13	7	7	4	4	4	3	3	2	2	1	計 86

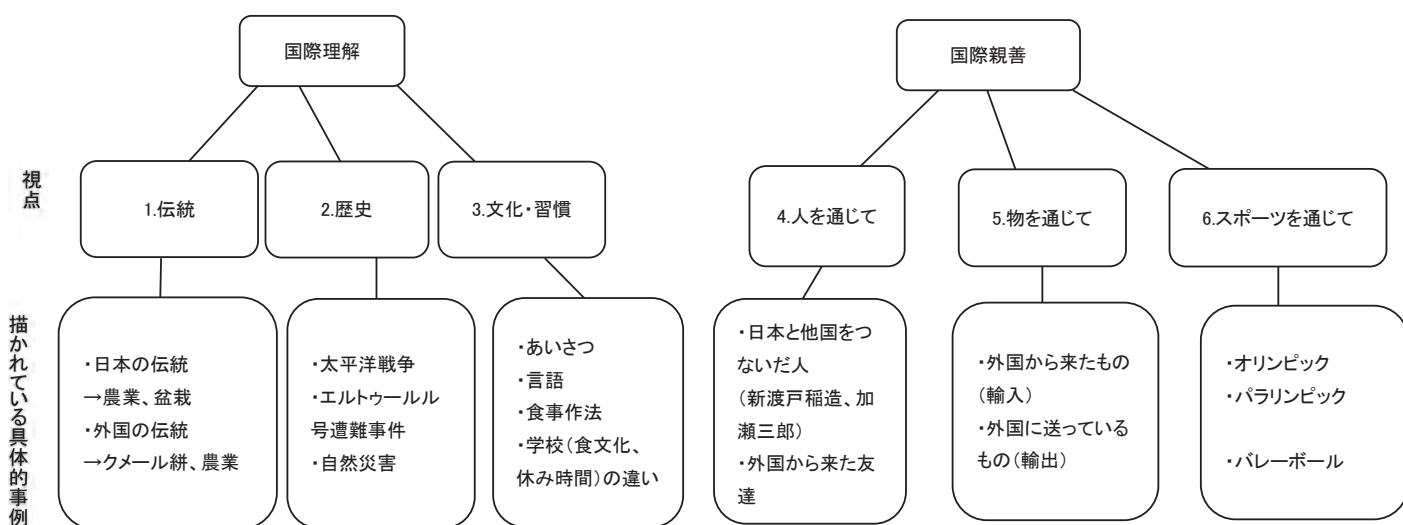


図1 国際理解・国際親善の具体的な内容の整理

本が世界の国々と友好を深めた歴史と、どのように日本と世界が関係を築き上げたかを理解する教材が取り上げられていた。この視点の教材も中学年から高学年にかけて多く見られ、自然災害を扱った教材は中学年だけに見られた。

3の「文化・習慣」の視点では、あいさつが異なることに驚いたり、興味をもつようになったりする事例、言語の違いからうまく会話ができなくても仲良くすることができたという事例、また、世界と日本では食事の礼儀作法が異なっているが、世界にとってはそれが当たり前であると学ぶことができる事例、世界の学校の給食の写真を見て、世界には十分に給食を食べることができない国があることを知ったり、授業中の様子や小学校の制度が異なること等を知ることができる教材が取り上げられていた。この視点の教材は低学年から中学年に多く見られた。

国際親善は主に「人を通じて」「物を通じて」「スポーツを通じて」の3つの視点に整理された。

4の「人を通じて」の視点では、新渡戸稲造や加瀬三郎等の人物が世界に日本を理解してもらおうとしたり、他国のために努力したりする事例や、外国から来た友達と主人公の関わりから、国が違って仲よくすることの大切さを学ぶことができる事例が取り上げられていた。この視点は具体的な人物を取り扱っている教材が高学年で見られ、教科書内の独自の人物を扱った教材は低学年と中学年で多く見られた。

5の「物を通じて」の視点では、外国から平和を願って人形が送られてきたり、日本から発展途上国に折り紙やランドセルを送ったりすることを通して国際親善に努める事例が掲載されていた。この視点の教材は低学年から高学年まで幅広く取り上げられていた。

6の「スポーツを通じて」の視点ではオリンピックやパラリンピックのイベントを通して世界の平和を願ったり、外国でバレーボールチームの指導を通して他国の経済成長を促進したりする事例が取り上げられていた。この視点は、オリンピック・パラリンピックが低学年と高学年で扱われ、バレーボールの指導を取り上げた教材は高学年で扱われていた。

しかし、全教材がこの視点で明確に分けることができるわけではない。例えば、西岡京治さんを扱った教材では、日本人が現地に赴き、その国の経済成長のために尽力したという視点で見ると、4の「人を通じて」の視点で考えられる。西岡さんはその国のやり方で農業を発展させたのではなく、日本式の農業を外国で広めたという視点で見ると、1の「伝統」の視点で考えることもできる。「国際理解, 国際親善」の教材は視点1から6に明確に分類できず、複数の視点が絡まって構成されているものも一部描かれていた。

(3) 同じ内容を扱っている教材

複数社で扱われている同一教材（同じ内容を扱っている教材：表現や教材名が違っていてもある）を表4～7にまとめた。以下に同一教材を扱っている教

材を学年、教材名、学びの手引き（とびら）の特徴、教科書の内容の特徴について述べる。

(ア)「ペルーは泣いている」の教材

「ペルーは泣いている」の教材は日本人が外国でスポーツの向上に寄与した事例である。図1の視点では6「スポーツを通じて」に該当し、国際親善に重点を置いた教材であると考えられる。本教材では、E社のみ第6学年で扱われており、他の2社は第5学年で扱われている。H社、E社は本文の最初の部分と同じ入り方であり、A社だけ異なっている。A社は、加藤明がペルーの女子バレーボールチームの監督になった経緯が書かれており、H社、E社は加藤明の心情が描かれている。学びの手引きについては『上をむいて歩こう』の歌を聞いている時のアキラの気持ちや思いを考えると共通している。A社は場面発問がなく、教材全体を通して、アキラの生き方について深めるといった学びの手引きの特徴がある。さらに、世界の人々と交流するときどのような気持ちや考えを持つことが大切かを考えるという点においては3社とも共通している。

(イ) 新渡戸稲造氏を扱った教材

新渡戸稲造氏を扱った教材は外国に日本の良さや立場を発信し続けた事例である。図1の視点では4の「人を通じて」に該当し、国際親善に重点をおいた教材であると考えられる。本教材では、A社のみ第5学年で扱われており、他の2社は第6学年で扱われている。同じ教材を扱っていても教材名は異なっていた。また、F社、A社には共通して「太平洋の橋」という言葉が共通しているが、C社は教材名が大きく異なっていた。また、3社の教科書の内容を比較すると、3社とも教科書の内容が異なっていた。学びの手引きにおいてF社、C社は「どのような思いで」という言葉が共通しており、新渡戸稲造の行為の背景にある思いについて考える発問が共通していた。F社、C社は教材

の場面を基にした場面発問がされているが、A社は場面発問がなく教材全体を通して新渡戸稲造の生き方について考える発問がされている。さらに、A社に特徴的な学びの手引きとして、日本と外国の文化のかけ橋となった人物に他にどのような人がいるかを調べることで発展的な学習活動へと繋げている。

(ウ) エルトゥールル号を扱った教材

エルトゥールル号を扱った教材は国と国との友好につながった人々の助け合い、交流の事例である。図1の視点では2の「歴史」に該当し、国際理解に重点を置いた教材であると考えられる。本教材は3社とも6年生で扱われている。どの教科書会社で使われている教材も教材名に「エルトゥールル号」という言葉が使われているが、H社は副題で「一日本とトルコのつながり」となっており、どの国との関わりが本教材では描かれているかを明らかにしていることが特徴的である。教科書の内容を見ると、D社はイラン戦争については書かれておらず、他2社は書かれている。また、主人公と父の会話が多く、会話文形式で描かれた、オープンエンド教材となっている。E社は時系列で事件が書かれており、その後の日本とトルコの交流についても書かれている。E社の教材は会話文がなく当時の事実だけが描かれている教材であった。H社は現在の日本とトルコの関わりが描かれ、家族との話から主人公が過去の事件について知っていく教材であり会話文形式で描かれていた。3社とも共通して、教科書には「トルコ軍艦遭難慰霊碑」の写真が掲載されている。学びの手引きについては二国の絆や交流など、つながりを考えるという点で3社とも共通している。また、「広末は、海を見ながらどんなことを考えたでしょう」という発問はD社特有の発問であり、オープンエンド教材であるため、拡散型の発問であると考えられる。さらに、「村人たちは、なぜ自分たちの大切な食材を出し

表4 複数社で扱われている同一教材1（ペルーは泣いている）

出版社	学年	教材名	学びの手引き（とびら）
A社	5	ペルーは泣いている	○ペルーの人々に親しまれたアキラの生き方をどう思うだろう。 ○外国の人との心の壁がもしあるとすれば、それを乗り越えるために大切なことは何だろう。 (○考えよう)
E社	6	ペルーは泣いている	○『上をむいて歩こう』の歌をきいたアキラはどのような気持ちになったでしょう。 ◆他国の人と交流するときどのような気持ちや考え方が必要でしょう。 (○かんがえよう ◆みつめよう)
H社	5	ペルーは泣いている	○「上を向いて歩こう」をペルーの選手たちが歌っている時、アキラはどんな思いだったかな。 ◆世界の人々と交流するために、どんな思いを持つことが大切だろう。 (○かんがえてみよう ◆みつめよう いかそう)

表5 複数社で扱われている同一教材2（新渡戸稲造氏）

出版社	学年	教材名	学びの手引き（とびら）
F社	6	太平洋の橋になりたい —新渡戸稲造—	<ul style="list-style-type: none"> ・稲造が、外国の人々に日本や日本人のことを正しく理解してもらいたいと思ったのはどうしてでしょう。 ・稲造は、どのような思いで「太平洋の橋になりたい」と言ったのでしょうか。 ・あなたが、外国の人に伝えたい日本や日本人のよさはありますか。それは、どのようなところでしょう。 ○将来、行ってみたい国や、その国でしてみたいことはありますか。 ○他の国の人々とたがいに深く理解し合っていくためには、どんなことが大切なのでしょう。（○道徳ノート）
A社	5	太平洋のかけ橋 新渡戸稲造	<ul style="list-style-type: none"> ○日本と外国の文化のかけ橋となった稲造についてどう思うだろう。 ○日本と外国のかけ橋となった人には他にどんな人がいるのだろう。（○考えよう）
C社	6	究極の理想「平和」を求めて —新渡戸稲造—	<ul style="list-style-type: none"> ◆新渡戸稲造の生き方にどのような感想や疑問をもちましたか ◆新渡戸稲造が『武士道』を書いたのは、どのような思いがあったからでしょう。 ◆◆日本でもアメリカでも敵だと言われながら、新渡戸稲造が世界に対して日本の立場を訴え続けたのはなぜでしょう。彼の生き方を支えた思いについて考えましょう。 ○新渡戸稲造の生き方で、「大切だ」と感じたり、「自分もこうありたい」と思ったりしたことを友達と交流しましょう。（◆考えよう ◆◆考えよう ○深めよう）

表6 複数社で扱われている同一教材3（エルトゥール号）

出版社	学年	教材名	学びの手引き（とびら）
H社	6	エルトゥール号 —日本とトルコのつながり—	<ul style="list-style-type: none"> ○日本とトルコをつないでいる絆とは、どんな心なのだろう。 ◆他国や他国の人々と絆を深めるためには、どんな考えが必要だろう。（○かんがえてみよう ◆みつめよう いかそう）
E社	6	エルトゥール号の きせき	<ul style="list-style-type: none"> ○日本とトルコの間で、現在も続いている交流にはどのような思いが込められているのでしょうか。 ◆世界中の人々とどのような思いで繋がっていくことが大切でしょう。（○かんがえよう ◆みつめよう）
D社	6	エルトゥール号 —友好の始まり—	<ul style="list-style-type: none"> ・村人たちは、なぜ自分たちの大切な食材を差し出してまで、乗組員たちを助けたのでしょうか。 ・「二つの国のきずな」とは、どのようなきずなでしょう。 ・広未は、海を見ながらどんなことを考えたでしょう。

表7 複数社で扱われている同一教材4（西岡京治氏）

出版社	学年	教材名	学びの手引き（とびら）
F社	5	明日をひらく橋 —西岡京治—	<ul style="list-style-type: none"> ・西岡さんは、ブータンの人々と理解し合うためにどんなことを大切にされたのでしょうか。 ・西岡さんがシエムガンを去るときに現地の人々が流した涙にはどんな思いが込められていたのでしょうか。 ・世界の中の日本人の一人として、あなたは他国の人とどのように関わっていきたいですか。 ○あなたの好きな国とその理由について書いてみましょう。 ○他の国の人々と接するときには、どんなことを大切にしたらよいでしょう。（○道徳ノート）
E社	5	ブータンと共に 西岡京治	<ul style="list-style-type: none"> ○国王から「ダシヨー」の称号をおくられた時、西岡さんは何を思ったでしょう。 ◆様々な文化や伝統を尊重しながら他国の人と親しくしていくためにはどのようなことを大切にしていけばいいのでしょうか。（○かんがえよう ◆みつめよう）
C社	5	ブータンに日本の 農業を	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本式の農業のやり方がブータンの人々に受け入れられたのは、西岡さんがどのような考え方を持っていたからでしょう。 ◆モンスーンでパロ農場が押し流されてしまった時、西岡さんはどのような気持ちだったでしょう。 ◆◆どうして西岡さんはブータンの農場指導を熱心に行ったのでしょうか。 ○皆さんがこれから外国の人と触れ合っていくときに大切にしていきたいのはどのような考え方ですか。（◆考えよう ◆◆考えよう ○深めよう）

てまで、乗組員たちを助けたのでしょ。』は場面発問であり、場面発問が見られたのはD社だけであった。

(エ) 西岡京治氏を扱った教材

西岡京治氏を扱った教材は、日本人が外国のインフラ整備に尽力した事例である。図1の視点では1の「伝統」、4の「人を通じて」の視点に該当し、国際親善に重点を置いた教材であると考えられる。本教材は3社とも5年生で扱われていた。3社の教科書の内容を比較すると、3社とも教科書の内容が異なっていた。教材名を比較すると、3社中2社に「ブータン」と国名が書かれており、また同様に3社中2社に「西岡京治」と登場する人物名を書いていた。教科書の内容を比較すると、E社、C社の2社は教科書の本文中に「ダショー(最高の人)」と書かれているが、F社は教科書の本文中ではなく、人物の説明のところに書かれている。学びの手引きについては、F社は「シムガンを去る時に現地の人々が流した涙にはどんな思いが込められていたのでしょうか。」E社は「国王から「ダショー」の称号を贈られたとき、西岡さんは何を思ったのでしょうか。」C社は「モンスーンでパロ農場が押し流されてしまった時、西岡さんはどのような気持ちだったのでしょうか。」と3社に共通して場面発問があり、人物の思いや気持ちを考える学習活動を通して、価値理解に迫るようにしていると考えられる。また、3社に共通して外国の人と関わる時に大切にしたいことを発問として聞くことで、本教材で学んだことを今後の生活にどのように生かしていくかを考えることができる発問となっている。

6 全体考察

現行学習指導要領から、低学年にも位置付けられた「国際理解、国際親善」だが、実際には低学年での教材数は、中・高学年に比して少なかった。だが、低学年段階から様々な国が登場していた。

学年毎に見られる特徴として低学年の教材は漫画形式で書かれていたり、写真や絵が多く使用されていたりする特徴が見られ、子どもの発達段階を考慮に入れた教科書の作りになっていると考えられる。

また、低学年での掲載内容として、実際に外国のあいさつを試みる教材や、世界の人々の写真を見て違いを考える教材、外国から来た転校生との関わりを題材にした教材が多く見られる等の特徴があった。

さらに中学年、高学年と学年が上がるにつれ、社会的な事実に基づく掲載内容や人物の相互の関係を理解することが基盤となる教材など、状況や歴史的背景

を必要とする教材が見られた。学びの手引きには、教材理解のための問いや道徳的価値について自分事として考えるための問いが掲載されており、教師はこれらの問いを授業の適切な場面で用いることによって子どもの道徳性を育む必要があると考える。

「国際理解、国際親善」に関する具体的内容は、ともに図1の3つの視点に整理された。だが、全教材を明確にこの視点で区別することは難しく、1つの教材に複数の視点が絡まって構成されているものもある。個々の児童が、教科書教材を通して世界の多様な価値観について理解を深め、社会の中で共生を大切に生きていくことができるよう、発達段階を考慮に入れて、実践していくことが大切ではないだろうか。

国際理解教育は道徳科だけで行われるものではなく、総合的な学習の時間や外国語科等の授業においても行われるものである。本教科書分析で得られたことを基に、道徳科を要とした国際理解・国際親善に関する単元を総合的な学習の時間や外国語科等で構想することで子どもの国際理解教育をさらに深いものにできるのではないだろうか。

参考文献

- ・池田直美・植田和也(2015)「思いやり・親切」を扱う道徳読み物資料に関する一考察 香川大学教育実践総合研究, 第31号, 107-118頁
- ・中央教育審議会(2016)幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策について(答申)
- ・中島敦夫・宮里智恵(2019)「国際理解, 国際親善」に関わる道徳的実践意欲を育む実践研究—内容項目C「伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度」と関連した指導を通して—教職開発研究2号, 19-28頁
- ・大野明子・植田和也・金網知征・齋藤嘉則(2020)道徳科の小学校教科書にみられるいじめ問題の記載に関する基礎的分析 道徳性発達研究 第14巻 日本道徳性発達実践学会
- ・浅部航太(2020)ねらいの明確化の支援に向けた「感謝」を扱う小学校教科用図書教材の分析 道徳と教育 第338号 日本道徳教育学会
- ・浅部航太(2022)内容項目の分析(礼儀)植田和也他編「道徳科を要とした道徳教育の推進～校内研修の充実を求めて～」美巧社

調査対象教科書（五十音順）

学研（2020）新・みんなのどうとく，学校図書（2020）小学校道徳 かがやけみらい，教育出版（2020）小学道徳 はばたこう明日へ，廣済堂あかつき（2020）小学生のどうとく，光文書院（2020）小学どうとく ゆたかな心，東京書籍（2020）新しいどうとく，日本文教出版（2020）小学どうとく 生きる力，光村図書（2020）どうとく きみがいちばんひかるとき

資料1 A社の掲載教材一覧

○考えよう

年	主題名	教材名	主人公や国名又は地域	学びの手引き（とびら）	SDGs観点
1	ことばがつうじなくても	となりのジェニーちゃん	しんや フィリピン	○言葉が通じない二人が仲よくなったのはなぜだろう。 ○あなたならジェニーちゃんとのようにして仲良くなるかな。	
2	いろいろな国のようす	行ってみたい	オーストラリア イタリア	○外国のことで知りたいな，行ってみたいと思うことはあるかな。 ○外国の人にどんなことを聞いてみたいかな。	
3	ちがいにとまどわないで	アメリカから来たサラさん	わたし アメリカ	○外国の人たちと仲良くするために，大切なことはなんだろう。	10.
3	わたしたちはつながっています	思いをこめて	子どもたち ネパール	○なぜネパールの子供たちは熊本県の子供たちを励ます絵手紙を送ったのだろう。 ○千羽鶴を折ったり，送ったりする関係をどう思うかな。	13. 17.
4	他国の人々と交流	アメリカとの出会い ジョン万次郎のぼうけん	ジョン万次郎 ウィリアム，アメリカ	○船長のウィリアムにアメリカの教育を受けさせたいと言われたとき，万次郎はどう思っただろう。 ○万次郎が外国の人と仲良くなったのはなぜだろう。	8.
4	世界とつながる日本	つながっている日本と外国	明子 ガイア，イタリア	○なぜ明子とガイアは日本とのつながりをもっと知りたいと思ったのだろう。 ○外国のことで他にあなたが知りたいことは何かな。また日本と外国のつながりを知ってどんなことを感じただろう。	
5	世界とつながるかけ橋に	太平洋のかけ橋 新渡戸稲造	新渡戸稲造 アメリカ，ドイツ， インド，ポーランド	○日本と外国の文化のかけ橋となった稲造についてどう思ったのだろう。 ○日本と外国のかけ橋となった人には他にどんな人がいるのだろう。	10. 16.
5	国境をこえて	ペルーは泣いている	加藤明 ペルー（アテ市）	○ペルーの人々に親しまれたアキラの生き方をどう思うだろう。 ○外国の人との心の壁がもしあるとすれば，それを乗り越えるために大切なことは何だろう。	8.
6	広げる他国の文化	幸せをいのって織る じゅうたん	私 イラン	○「私」はどのような願いを込めて「ギャッパ」を日本で広く紹介しているのだろう。 ○他国の文化について知っていることはあるだろうか。また，他国の人々と交流していることはあるだろうか。	6. 8. 9.
6	世界で自分を生かす道	米作りがアフリカを救う	坪井達史 アフリカ（ウガンダ）	○坪井さんたちがウガンダでネリカ米の普及に努めたのはどのような考え方からだろう。 ○国境を越えて協力をし，親善に努めている人たちについて調べてみよう。	1. 2. 3. 8. 9.

資料2 B社の掲載教材一覧

○学習のとびら（まとめる，ひろげる）

年	主題名	教材名	主人公や国名又は地域	学びの手引き（とびら）	SDGs観点
1	がいこくのひととなかよく	エマさんのこたえあわせ	エマ わたし オーストラリア	エマさんはどんな気持ちで過ごしているのかな。 日本と外国の違うところを知ってわたしはどう思ったのかな。 ○外国の人と仲良くするために大切なことをまとめよう。 ○日本と外国の違いを家の人に聴いたり本を読んだりしてまとめよう。	
2	スポーツでなかよし	オリンピックとパラリンピックのはた	せいこ	「スポーツでなかよし」ってどういうことかな。 ○世界の国についてどんなことが知りたいかノートに書きましよう。 ○書いたことを調べて発表ましよう。	8. 10.
2	がいこくにしたいしむ	ジョゼクんとおりがみ	ジョゼくん ぼく ブラジル	ぼくは折り紙がブラジルでも人気だと聞いてどう思ったかな。 僕はなぜブラジルのことを知りたくなったのでしょうか。 ○外国の人と仲良くなるためにはどんなことが大切かまとめよう。 ○あなたが知りたい外国のことを調べてましよう。	
3	ほかの国のことを考える	海をわたるランドセル	あやか アフガニスタン	お姉さんはどうして大切にしていたランドセルを送ることにしたのかな。 子どもたちが嬉しそうな顔をしているのはどうしてなのでしょう。 ○日本と他の国とのつながりについて考えたことをまとめよう。 ○ほかの国のために，自分にもできる活動を探してましよう。	1. 4. 10.
4	国をこえてつながる心	さくらのかけ橋	正人 奈々 ジェフ先生 アメリカ（ワシントン）	アメリカの人たちはなぜさくらの木を大切にしているのでしょうか。 なぜ正人さんはジェフ先生と何かがつながったように感じたのでしょうか。 ○自分の知っている日本と外国の似ているところ，それぞれの国の良さについて話し合いましよう。 ○「さくらの架け橋」のような日本と外国のつながりが他にもないか調べてましよう。	15.
5	日本の紹介	いっしょに何をしようかな	進由紀子 マイク ジューン アメリカ	お父さんやお母さんがお寺巡りや太巻きずしつくりを提案したのはなぜでしょうか。 進さんと由紀子さんの2人はどんなことを考えていたのかな。 ○他の国の人と親しくなるために大切だと思うことをまとめましよう。 ○世界に誇れる場所や物について調べてましよう。	
6	世界の人々と共に	フーバーさん	フーバー，和子 スイス（ジュネーブ， チューリッヒ）	スイスのよさってどんなところだろう。 外国について理解するために大切なことは何だろう。 ○外国の文化や歴史を理解し，その国の人々と親しくなるためには，何が大切でしょうか。 ○あなたが関心のある国について調べ，その国の人や行ったことのある人から話を聞いてましよう。	10. 15.

資料3 C社の掲載教材一覧

◆考えよう ◆◆考えよう ○深めよう

年	主題名	教材名	主人公や国名又は地域	学びの手引き（とびら）	SDGs観点
1	せかいの人たちにしたしむ	せかいのあいさつ	アメリカ、韓国、ロシア、ドイツ、中国、ケニア、サウジアラビア、インド、ブラジル	せかいのあいさつをしてみよう。	
2	せかいの人たちにしたしむ	国旗と国歌を大切に		いろいろな国旗にこめられた意味を調べてみましょう。	10.
3	世界の人々や文化に関心をもつ	いつかオーストラリアへ	たける ダニエル オーストラリア	◆自分の言いたいことを伝えようと一生懸命になった時、たけるはどんな気持ちだったでしょう。 ◆たけるがオーストラリアのことをもっと知りたくなったのはどうしてでしょう。 ◆◆たけるとダニエルが仲よくなれたわけを話し合います。 ○自分だったら、外国の人とどのようにして仲良くなるか考えてみましょう。	10.
4	世界の人々や文化に関心を持つ	世界の子どものために	マーサ ぼく アフリカ（マウライ）	◆いろいろな国の給食を知って「ぼく」はどんなことを考えたでしょう。 ◆◆マーサちゃんのすごいところはどこでしょう。 ◆マーサちゃんがこのような行動をとることができたのはなぜでしょうか。 ○マーサちゃんから学んだことを、自分の行動にどのように生かしていけるかを考えてみましょう。	1. 2. 3. 9.
5	進んで国際親善に努める	ブータンに日本の農業を	西岡京治 ブータン（パロ）	◆日本式の農業のやり方がブータンの人々に受け入れられたのは、西岡さんがどのような考え方を持っていたからでしょう。 ◆モンスーンでパロ農場が押し流されてしまった時、西岡さんはどのような気持ちだったでしょう。 ◆◆どうして西岡さんはブータンの農場指導を熱心に行ったのでしょうか。 ○皆さんがこれから外国の人と触れ合っていくときに大切にしていきたいのはどのような考え方ですか。	1. 8. 9. 12.
5	進んで国際親善に努める	青い目の人形	シドニー・ギュリック博士 歌子ちゃん 安藤先生 校長 アメリカ	◆歓迎式をしたとき学校のみんなはどのような気持ちだったでしょう。 ◆◆どうして土居村の小学校では人形を処分しなかったのでしょうか。学校のみんなを一つにした思いについてみんなで話し合います。 ◆アメリカから送られた人形が全国で334体も残っているのはどうしてだと思いますか。 ○外国の人たちと心を通わせて交流するために、大切にしたいことについて、自分の考えをまとめましょう。	10. 16.
6	進んで国際親善に努める	究極の理想「平和」を求めて —新渡戸稲造—	新渡戸稲造 ラブレ博士 アメリカ、ドイツ、カナダ	◆新渡戸稲造の生き方にどのような感想や疑問をもちましたか。 ◆新渡戸稲造が『武士道』を書いたのは、どのような思いがあったからでしょう。 ◆◆日本でもアメリカでも敵だと言われながら、新渡戸稲造が世界に対して日本の立場を訴え続けたのはなぜでしょう。彼の生き方を支えた思いについて考えましょう。 ○新渡戸稲造の生き方で、「大切だ」と感じたり、「自分もこうありたい」と思ったりしたことを友達と交流しましょう。	10. 16.
6	進んで国際親善に努める	ベトナムの人に、安全な水を	ミンちゃん ベトナムフエ市 横浜市水道局の人	◆水道はあるのに、飲める水がでてこないことをどう思いますか。 ◆◆横浜市の水道局の人たちが、なぜ運営マニュアルをフエ市の人たちに作らせたのかを考えましょう。 ○世界の国々と助け合い、国際親善を進めていくために、みなさんができることにはどのようなことがあるでしょう。考えて、発表しましょう。	3. 6. 9.

資料4 D社の掲載教材一覧

年	主題名	教材名	主人公や国名又は地域	学びの手引き（とびら）	SDGs観点
1	せかいの子どもたちとともに	せかいの子どもたち	チリ、ネパール、インドネシア、アメリカ、フィンランド、トーゴ	子どもたちは、何をしていますか。 みんなの生活や遊びと似ているところはありますか。また、違うところはありますか。 世界の子どもたちとどんなことを一緒にしてみたいですか。	
2	せかいのことを知ろう	日本のお米、せかいのお米	わたし	お米が他の国から伝わってきたことを知った「わたし」はどんなことを思ったでしょう。 144・145ページのお米を使った料理を見て、あなたはどう思いましたか。 他の国のことで、知っていることはありますか。それはどんなことですか。	
3	他の国の人と仲良くなるために	マサラップ	ぼく フィリピン	「ぼく」はどうしてフィリピン語で「マサラップ」と言ってみたかったのでしょうか。 笑顔になったりサ先生の顔を見て「ぼく」はどんなことを思ったでしょう。 他の国のことですてきだな、素晴らしいなと思ったことはありますか。	10.
4	世界の人々に親しむ	わたしの大切なもの	モンゴル、ニュージーランド フィリピン、ブルキナファソ アルゼンチン	あなたの「大切なもの」は何ですか。それは、どうしてですか。 世界の子どもの「大切なもの」とあなたの「大切なもの」を比べてみましょう。比べてみてあなたは、どんなことを考えましたか。	
5	他国の人々を理解して	小さな国際親善大使	芽衣 中国 アメリカ	お兄さんから料理を残した訳を聞いたとき、芽衣はどんなことを考えたでしょう。 笑顔になった女の人たちを見て、芽衣はどんなことを考えたでしょう。 「誰もが国際親善大使になれるはずよ。」という言葉にはお母さんのどんな考え方が込められているでしょう。	2.
6	他国の人々を理解して	「クメール餅」の復興を目指して	森本喜久男 タイ カンボジア	森本さんは、どうしてカンボジア伝統のクメール餅を復興させようと思ったのでしょうか。 森本さんの取り組みが、カンボジアの人々に受け入れられたのは、森本さんがどんな考えを持っていたからでしょう。 他国の人々と理解し合うためには、どんなことが大切でしょう。	8. 9. 12.
6	他国の人々と支えながら	エルトゥールル号—友好の始まり	広未 トルコ 村人たち	村人たちは、なぜ自分たちの大切な食材を差し出してまで、乗組員たちを助けたのでしょうか。 「二つの国のきずな」とは、どのようなきずなでしょう。 広未は、海を見ながらどんなことを考えたでしょう。	10.

資料5 E社の掲載教材一覧

○かんがえよう ◆みつめよう

年	主題名	教材名	主人公や国名又は地域	学びの手引き（とびら）	SDGs観点
1	いろいろなくに いかいにくにへ	いってみたいな、せ かいのくにへ	しげるくん イタリア、ミャンマー	○しげるくんは他の国のどんなことを知りたいと考えているのでしょうか。 ◆他の国のことで知りたいことや知っていることにはどんなことがありますか。	
2	ほかの国の人 となかよく	かえるのおり紙	まり子 ジェーン	○ジェーンと別れるときまり子はどんな気持ちで手を振り続けたのでしょうか。 ◆他の国の人と出会ったとき一緒にどんなことをしてみたいですか。	
3	他国の友だち	カンボジアから来た 転校生	ラミー君 カンボジア	○「ぼくたちが応援するから2学期がんばろうな。」と言われたラミー君はどんなことを考えたのでしょうか。 ◆他国の人と仲良く接するためにはどんな心構えが大切だと思いますか。	10.
4	他国の習慣を 知る	歯が抜けたら	わたし、メキシコ、 ベルギー エジプト	○とても愉快になってきた「わたし」はどんなことを考えているのでしょうか。 ◆世界と日本の生活習慣や考え方の違いについてどんなことを知りたいですか。	
5	もてなす心	ゴールデンルール	ぼく イギリス	○「ぼく」はなぜ「ゴールデンルール」がお茶をおいしくいれるためだけではないと考えたのでしょうか。 ◆あなたは他国の人に、日本の文化をどのように伝えたいですか。	
5	豊かさを学び 合う	ブータンと共に	西岡京治、ヒマラヤ ブータン（パロ） シェムガン地方	○国王から「ダショー」の称号をおくられた時、西岡さんは何を思ったのでしょうか。 ◆様々な文化や伝統を尊重しながら他国の人と親しくしていくためにはどのようなことを大切にして いけばいいのでしょうか。	1. 8. 9. 12.
6	国と国をつなぐ	ペルーは泣いている	加藤明 ペルー	○『上をむいて歩こう』の歌をきいたアキラはどのような気持ちになったのでしょうか。 ◆他国の人と交流するときどのような気持ちや考え方が必要でしょうか。	8.
6	国をこえた思 いやり	エルトゥール号の きせき	村人、乗組員、トル コ共和国 テヘラン、ヤロバ市	○日本とトルコの間で、現在も続いている交流にはどのような思いが込められているのでしょうか。 ◆世界中の人々とどのような思いで繋がっていくことが大切でしょうか。	10.

資料6 F社の掲載教材一覧

○道徳ノート

年	主題名	教材名	主人公や国名又は地域	学びの手引き（とびら）	SDGs観点
1	ほかのくにに したしきをも って	せかいが一つに		・世界のいろいろな国の人たちの写真を見て気づいたことを発表しましょう。 ・身の回りには他の国から来たものがたくさんあります。探してみましょう。	16.
2	ほかの国に親 しみをもっ て	せかいはつながっ て		・他の国からもものがなくなってしまうらどうなるのでしょうか。 ・「せかいはつながっている」とはどういうことなのでしょう。 ○他の国から来たものを探してみましょう。	
3	他国の人々や 文化に親しん で	青い目のお友だち	学級みんな ベティ・ジェーン(人形) アメリカ	・人形には送ってくれた人たちのどんな思いが込められていたのでしょうか。 ・学級みんなはどんな思いでこれからも「ひな祭り音楽会」が続くようにと誓い合ったのでしょうか。 ・あなたが身近に親しんでいる外国から来たものには、どんなものがありますか。 ○たくさんの違いがある他の国の人と、仲良くするにはどうすればよいのでしょうか。	10. 16.
4	他国の人々や 文化に親しん で	李さんのおひさま スープ	中国 夏海	・夏海はとなりに引越してきた李さんをはじめは「変な人」だと思いますが、それはなぜでしょうか。 ・看病をしてもらったり、いろいろな話をして、「李さんはもう変な人なんかじゃない」と思うよう になります。夏海はどんなことに気づいたのでしょうか。 ・世界の人々と仲良くするには何が重要だと思いますか。 ○他の国のものや文化で、すてきなあとと思うものを見つけましょう。 ○他の国の人達と分かり合うためには、どのようなことが大切でしょうか。	10.
5	世界の中の日 本人として国 際親善に努め て	明日をひらく橋 —西岡京治—	西岡京治 ブータン王国（シェ ムガン県）	・西岡さんは、ブータンの人々と理解し合うためにどんなことを大切にしたのでしょうか。 ・西岡さんがシェムガンを去るときに現地の人々が流した涙にはどんな思いが込められていたのでしょうか。 ・世界の中の日本人の一人として、あなたは他国の人とどのように関わっていきたいですか。 ○あなたの好きな国とその理由について書いてみましょう。 ○他の国の人々と接するときには、どんなことを大切にしたらいでしょうか。	1. 8. 9. 12.
6	世界の中の日 本人として国 際親善に努め て	太平洋の橋になりたい —新渡戸稲造—	新渡戸稲造 アメリカ	・稲造が、外国の人々に日本や日本人のことを正しく理解してもらいたいと思ったのはどうしてで しょう。 ・稲造は、どのような思いで「太平洋の橋になりたい」と言ったのでしょうか。 ・あなたが、外国の人に伝えたい日本や日本人のよさはありますか。それは、どのようなところで しょう。 ○将来、行ってみたい国や、その国でしてみたいことはありますか。 ○他の国の人々とたがいに深く理解し合っていくためには、どんなことが大切なのでしょうか。	10. 16.

資料7 G社の掲載教材一覧

○考えよう

年	主題名	教材名	主人公や国名又は地域	学びの手引き（とびら）	SDGs観点
1	ほかのくにのひとびととなかよく	ほくとシャオミン	たろう 中国	他の国のことで知っていることはありますか。	
2	ほかのくにのひとびととなかよく	ひろいせかいのたぐさんの人たちと	たけし ベトナム、メキシコ、フランス	身の回りにある、他の国から伝わってきたものにはどんなものがありますか。	
3	ほかの国の人々と心をつなぐ	三つの国	わたし カメルーン アメリカ	○「わたし」が「どっちも、がんばれ！」と言ったのはどうしてでしょう。 ○世界にある様々な国のことで「日本と違うな」、「日本と同じだな」と思うところについてみんなで話し合ってみましょう。	10.
4	ほかの国の人々と心をつなぐ	世界の小学生	エミリア（ドイツ）、 ハッサ（モンゴル）、 ソフィー（ニュージーランド） ダニエル（ブラジル）	○世界の小学生の様子を知ってあなたが良いなと思ったことはどんなことですか。 ○世界と日本の様子を比べてあなたはどんなことを考えましたか。	4.
5	国際理解、国際親善	「折り紙大使」～加瀬三郎	加瀬三郎、イスラエルユダヤ人、パレスチナ人、イラン	○加瀬さんはどうして「折り紙をやってきて本当に良かったなあ。」と思ったのでしょうか。 ○あなたは外国の人々に日本のどんな文化を伝えて交流したいですか。	4. 10. 16.
5	国際理解、国際親善	同じ空の下で	アメリカ、中国、フランス、ブラジル インド	○あなたと「世界中の子どもたち」との、様々な「同じ」を探してみよう。 ○あなたは、これまでに外国の言葉や文化に触れたとき、どんなことを考えたり、思ったりしましたか。また、これからどのような関わり方をしていきたいと思いませんか。	1. 2. 3. 16.
6	国際理解、国際親善	白旗の少女	富子 ヘンドリックソン（アメリカ）	○ヘンドリックソンさんとやっと会えた富子はどんなことを思ったのでしょうか。 ○国際理解や親善のために、私たちにどんなことができるか話し合ってみましょう。	16.
6	国際理解、国際親善	エンザロ村のかまど	岸田袈裟、村人 ケニア・ナイロビ（エンザロ村）	○岸田さんはどんな思いからエンザロ・ジコを考え出したのでしょうか。 ○困っている外国の人々を手助けするために、あなたはどんなことをしていきたいですか。	1. 3. 6. 9.

資料8 H社の掲載教材一覧

○かんがえてみよう ◆みつめよう いかそう

年	主題名	教材名	主人公や国名又は地域	学びの手引き（とびら）	SDGs観点
1	せかいのくにから	オリンピック・パラリンピック	わたし	○とても楽しみだという「わたし」の気持ちを考えよう。 ◆2020年の東京オリンピック・パラリンピックでどんなことが楽しみなか。	
1	せかいのひととつながろう	学校へいくとき	ほく ソニア ブラジル	○顔を見合せて笑っている「ほく」はどんなことを考えていたのでしょうか。 ◆いろいろな国の言葉で「おはよう。」と言えたらどうだろう。	10.
2	せかいのなかま	タヒチからの友だち	ほく アイト タヒチ	○空港でアイトと別れる時、「ほく」はどんなことを思っただろう。 ◆外国の子どもたちのことを見たり聞いたりして、友達になってみたいと思ったことがあるかな。	10.
2	ほかの国の友だち	ハンナのなみだ	よし子 ハンナ フィンランド	○ハンナの目から大粒の涙がこぼれてきたのを見て、よし子はどんなことに気がついたのだろう。 ◆いろいろな国の人たちと仲良くするためにはどんな考え方が大切かな。	10.
3	ちがいがから	同じ小学校でも	ほく レン ハワイ	○ちがいがいつながりの両方があることが分かって、「ほく」はどんなことを考えたかな。 ◆外国との違いやつながりで、すごいな、おもしろいなと思ったことを思い出してみよう。	
4	それぞれの国にそれぞれのよさが	海をこえて	アリス、先生 フランス	○アリスさんが、ガーデニングの素晴らしさと「盆栽の心」の両方を広めたいと思ったわけは何だろう。 ◆あなたは外国のどんな良さを知っているかな。また、外国の人に日本のどんなことを伝えたいかな。	9. 15.
4	外国とのちがいを受け入れて	いろいろな食べ方	りょうた、アジェイ ジーナ、ひろみ姉 ちゃん インド、パキスタン	○りょうたがもっとアジェイやジーナのことを知りたくなったのは、どんな思いからかな。 ◆外国の人たちと仲良くなるためには、どんな気持ちや考えが大切なのだろう。	
5	世界の人々と共に	ペルーは泣いている	加藤明 ペルー	○「上を向いて歩こう」をペルーの選手たちが歌っている時、アキラはどんな思いだったかな。 ◆世界の人々と交流するために、どんな思いを持つことが大切だろう。	8.
5	日本から世界へ	マイantzからの便り	わたし ドイツ	○和服でパーティーに出席し、交流の輪を広げることができた「わたし」はどんなことが大切だと考えただろう。 ◆外国の人たちと交流したことはあるかな。その時どんな思いで交流しただろう。	10.
6	その国のほこりと伝統	東京オリンピック国旗にこめられた思い	吹浦忠正 アイルランド	○東京2020オリンピック・パラリンピックに受け継がれる「思い」とはどんな思いだろう。 ◆他国の人々や文化について理解するためには、どんな心を持つことが大切だろう。	
6	他国との心のつながり	エルトゥール号 一日本とトルコのつながり	智美 トルコ	○日本とトルコをつないでいる絆とは、どんな心なのだろう。 ◆他国や他国の人々と絆を深めるためには、どんな考えが必要だろう。	10.